

第1回静岡障がい者サッカーフェスティバル大会 報告書

つながり・きょうゆう・はってん

平成27年度障がい者スポーツ振興事業

「静岡県における障がい者スポーツの地域連携振興事業」



期 日 平成28年1月9日（土）、10日（日）

場 所 清水ナショナルトレーニングセンター、IAI スタジアム日本平、静岡市立清水庵原中学校

主 催 NPO 法人静岡FID サッカー連盟

共 催 公益財団法人静岡県障がい者スポーツ協会

主 管 第1回静岡障がい者サッカーフェスティバル大会実行委員会

後 援 静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、一般財団法人静岡県サッカー協会、
NPO 法人清水サッカー協会、静岡県手をつなぐ育成会、静岡新聞社・静岡放送

協 力 東海大学付属静岡翔洋高等学校中・高女子サッカー部、静岡市立清水庵原中学校サッカー部
静岡市立清水第一中学校サッカー部、清水ナショナルトレーニングセンター

協 賛 清水ライオンズクラブ、プーマジャパン株式会社、株式会社コーチョー

お礼

第1回静岡障がい者サッカーフェスティバル大会が冬の穏やかな日差しに恵まれ、無事終了しました。昨年のプレ大会を経て、各障がい者サッカー団体とこの大会の実現のために準備をしてきました。

今回は、アンプティサッカー、ソーシャルフットボール、知的障がい者サッカー、電動車椅子サッカーの4団体の大会とアンプティサッカー、ブラインドサッカーの体験教室と様々な障がいを体験するサッカー教室を試みました。公益財団法人日本サッカー協会をはじめ公益財団法人日本障がい者スポーツ協会等の視察や今後の大会運営に活すために訪れた大宮アルディージャや横浜の障がい者スポーツ団体等との意見交換もしました。皆が口にしたのは、「笑顔がいっぱいだね」「雰囲気がいいね」「楽しいね」でした。これは、まさに「サッカーをやる人」「支援する人」「応援する人」「運営する人」が一体となって生まれるものだと思います。今回、会場を訪れたすべての人に感謝したいと思います。有難うございました。

この大会を告知してから、障がいのあるお子さんの保護者から「サッカーが大好きだけどやる場所がない」「サッカーをやらせてみたい」などの相談も受けました。障がい者サッカーはまだまだ発展途上です。この大会の使命は、障がい者サッカーの理解と普及であることを再認識しました。皆がどこでも、楽しくサッカーに関われる社会になるように微力ながら努力していきたいと考えています。

清水エスパルスで活躍していた斉藤俊秀さん、平松康平さん、市川大祐さんも訪れ、電動車椅子サッカーやアンプティサッカーを体験し、応援メッセージを残してくれました。また一般財団法人静岡県サッカー協会の杉山隆一副会長の「ルールをもっと知って楽しみたい」とのお言葉は、障がい者サッカーの普及に努めている関係者にとって、今後努力していかなければならない視点と方向性であると受け止めました。日本アンプティサッカー協会のセルジオ越後最高顧問の「選手は、障がいに甘えない」というお言葉は、選手への温かい激励の中に、人としてあるいはプレーヤーとしての自覚を促すものでした。公益財団法人日本サッカー協会グラスルーツ推進部の松田薫二部長からは、今後の障がい者サッカーの発展のための動きをお話いただきました。参加した多くの方々が、この大会をとおして得るものがたくさんあったのではないのでしょうか。

末尾になりますが、この大会開催にあたり、清水ライオンズクラブ様、株式会社コーチョー様をはじめ、多くの企業、団体に御支援をいただきました。有難うございました。

来年は、更にたくさんの方に参加していただき、「笑顔いっぱい」の大会にすることを約束してお礼の言葉にします。

第1回静岡障がい者サッカーフェスティバル実行委員会一同

大会日程

1月9日 (土)

カテゴリー	知的一般 エンジョイ	知的一般 スタンダード	知的中学生 大会	知的小学生 大会	ブラインド 教室	電動車椅子 教室・大会	アンプティ 教室
9時30分	J 西 ピ ッ チ	J 東 ピ ッ チ	庵 原 中 学 校	J 西 ピ ッ チ	J 体 育 館	J 体 育 館	J フ ッ ト サ ル コ ー ト
10時00分							
10時30分							
11時00分							
11時30分							
12時00分							
12時30分							
13時00分							
13時30分							
14時00分							
14時30分							
15時00分	閉会式(体育館)						
15時30分	閉会式(体育館)						
16時00分	閉会式(体育館)						

1月10日 (日)

カテゴリー	知的招待 代表 VS 横浜F・マリノス	知的 VS ろう者	アンプティ 練習会	アンプティ 東西対抗	ソーシャル フットボール	障がい者 サッカー 教室	静岡県知的 東西対抗
9時30分	I A I ス タ ジ ア ム	中 止	J 西 ピ ッ チ	J 西 ピ ッ チ	J 体 育 館	J フ ッ ト サ ル	J 東 ピ ッ チ
10時00分							
10時30分							
11時00分							
11時30分							
12時00分							
12時30分							
13時00分							
13時30分							
14時00分							
14時30分							
15時00分	閉会式(体育館)						
15時30分	閉会式(体育館)						
16時00分	閉会式(体育館)						

この報告集作成にあたっては、ボランティアの中学生が運営者、選手、監督等にインタビューをしました。写真は、静岡市広報市民カメラマンの望月敏秀さん、大滝和夫さんにお願ひしました。

【今年度参加のボランティアの所属】有難うございました！

東海大学附属静岡翔洋高等学校中・高女子サッカー部、静岡市立清水庵原中学校サッカー部、静岡市立清水第一中学校サッカー部、清水国際高等学校、常葉大学保健医療学部、静岡大学教育学部、日本体育大学、静岡県理学療法士会

大会コンセプトに関して

つながり きょうゆう はってんをコンセプトに本大会の準備をしてきました。プレ大会では、知的障がいサッカー（小・中・高・一般）・アンプティサッカー教室、電動車椅子サッカー体験会及び大会、ブラインドサッカー教室でしたが、今年は、アンプティ東西対抗と知的障がいの静岡代表と横浜F・マリノスフトウーロの試合と精神障がいのソーシャルフットボールの大会、障がい者サッカー教室を加えることができました。今後も多くの団体とつながっていき大会を盛り上げていきたいと思えます。

【知る】

10月下旬に、パンフレットが出来上がり、公益財団法人静岡県障害者スポーツ協会の協力の元もと、県内の学校を始め、多くの障がい者団体等に送付することができました。大会の問い合わせだけでなく、相談、ボランティアの申し込み等もありました。

【見る】

三島や浜松からも応援に来ていただきました。たくさんの方が見えたため、駐車場が足りなくなっていました。来年度は、近くの駐車場からのピストン輸送も検討しなければなりません。

【応援する】

特にアンプティサッカーを中心に、グラウンドでは多くの声援をいただきました。有難うございます。しかし、体育館での電動車椅子サッカー、ソーシャルフットボールでは、少し応援が少ないことを選手から指摘されました。来年度は、大会の運営だけでなく、チームへの応援ボランティアで盛り上げることも検討していきたいと思えます。

【やってみる】

電動車椅子サッカー、アンプティサッカー、ブラインドサッカーの体験会では、ボランティアの積極的参加もあり盛況でした。

障がい者サッカーは、様々な障がい者サッカーを体験していただき、理解も深めてその場の仲間が仲良くなるというものです。メリメロという団体から指導していただきました。少年団の選手も参加し、楽しいひと時でした。「もっとやりたい」と嬉しいお言葉をいただきました。

ボランティア養成も含めて、もっともっと学習会を行ない、他の大会でも実施してみたいと考えています。

【参加する】

体験教室には、多くの方が参加し、とても嬉しい感想をたくさん寄せてくれました。アンプティサッカーには、同じ障がいのある方が、静岡では初の参加でした。電動車椅子も含めて、道具の確保は今後の課題です。ボランティアの参加も、個人から団体まで2日間で100人を超えました。

小学生の試合に、相談に来た小学生も加わって楽しそうでした。これからは「相談部門」の設置を検討します。

【知的・小学生】

緑の芝生の上で、思いっきりサッカーを楽しめて良かったです。ボランティアの大学生、中学生も共にサッカーを楽しめたのではないかと思います。このような機会を多くしていきたいと改めて思いました。

お父さん、お母さんも笑顔で応援してくださっていることが印象的でした。



【選手の感想】

- ・「楽しかった。試合がよかった。」
- ・「疲れたけど、楽しかったです。」

【保護者の感想】

・「驚きました。」、「小学生の知的障がいしか知らなかったけど、中学生や高校生もいて、アンブティサッカーも見て、幅広いと感じた。」



【知的・中学生】

中学生は、静岡、藤枝、磐田の3団体が参加しました。思ったよりも接戦の試合が多く、応援にも熱が入っていました。

午前中は、静岡市立清水庵原中学校でリーグ戦、午後は、清水ナショナルトレーニングセンターのピッチで参加者全員による紅白試合を楽しく行いました。

【試合結果】

優勝	エスペランサA	準優勝	ブルースカイ磐田
	エスペランサA	9 - 0	エスペランサB
	高洲中学校	2 - 0	エスペランサC
	エスペランサA	2 - 0	高洲中学校
	ブルースカイ磐田	9 - 0	エスペランサC
	ブルースカイ磐田	4 - 0	高洲中学校
	エスペランサB	2 - 1	エスペランサC
	エスペランサA	8 - 0	エスペランサC
	ブルースカイ磐田	4 - 0	エスペランサB
	高洲中学校	2 - 1	エスペランサB
	エスペランサA	0 - 0	ブルースカイ磐田

優勝を目指しているチームもあります。月1回の練習ですが、他の学校の生徒と仲良くすることと技術の向上を目指しています。

エスペランサの監督

チームワークよく、全員サッカーを目指しています。声を出すこと体力作りをしています。

ブルースカイ磐田の監督

他のチームのレベルが高くて驚きました。練習をたくさんやって来年も参加したい。

高洲中学校の監督

選手の感想

- ・「ポジショニングが難しかった。ボールが捕れて、みんなの役に立てて良かった。キーパー
- ・「連携することが大事」、「ポジションをしっかりと確認して動きたい。」 (高洲中学校)
- ・「ボールがこぼれた方にも食らいつけて良かった。」
- ・「パスワークをしっかりとやって、シュートまでいきたい。」
- ・「パスがうまくつながって、コミュニティがよかった。」 (ブルースカイ磐田)
- ・「シュートを決めて守りもしっかりやりたい。」
- ・「優勝したい」
- ・「点を取りたい」 (エスペランサ)



【知的障がい者サッカー・一般エンジョイの部】

今年も福井からFIDチームが参加してくれました。昨年よりも強くなっている、今年は、Bリーグで優勝でした。

きっと全国障害者スポーツ大会までには強くなっていることと思います。

点差のある試合もありましたが、気持ちを切り替えて、次の試合に向けている様子がとてもさわやかなチームが多かったです。

たくさん試合ができて満足したようです。

試合結果

【Aリーグ】優勝 スポーツを楽しむ会 準優勝 静岡北特支

スポーツを楽しむ会 5 - 3 静岡北特支

御前崎分校 4 - 0 富士山ドリームビレッジ

静岡北特支 4 - 0 御前崎分校

スポーツを楽しむ会 8 - 2 富士山ドリームビレッジ

静岡北特支 1 - 0 富士山ドリームビレッジ

御前崎分校 3 - 2 スポーツを楽しむ会

【Bリーグ】優勝 福井FID 準優勝 南の丘分校B

南の丘分校B 2 - 1 清水特支B

福井FID 7 - 0 城北分校B

清水特支B 3 - 0 城北分校B

福井FID 2 - 0 南の丘分校B

福井FID 2 - 0 清水特支B

南の丘分校B 6 - 0 城北分校B

《選手の感想》

- ・攻められることが多かったけど楽しかった。次は、シュートまでいきたい。(ドリームビレッジ)
- ・シュート頑張ったけど、ゴールにつながらなくて残念！(ドリームビレッジ)
- ・1点取れて先生に褒められました。ボールをもらってドリブルしてシュートを打つことがうまくできなかった。残念！(南の丘分校B)
- ・人数が少なく大変だった。今度も勝ちたい！(南の丘分校B)
- ・負けて悔しい。今度は勝つ！(清水特支B)
- ・冬の練習は少なかった。練習の成果が出て良かった。(城北分校B)
- ・久々の試合だったが、調子は良かった。ゴールできた。感動した！(福井FID)
- ・みんな一生懸命なので良かった。楽しくやって勝ちたい。(スポーツを楽しむ会)
- ・いつもどおりにできた。ミスが多くて残念！(静岡北特支)
- ・パスが繋がった。課題点を見つけて修正する。(御前崎分校)

《監督感想》

- ・仕事をやりながら、サッカーを楽しんでいます。楽しんでできた。(ドリームビレッジ)
- ・自分たちの持ち味が出せた。諦めずにできていた。(南の丘分校B)
- ・前半シュートまでいけなかったが、ハーフタイムの指示の後、たくさんチャンスを作れた。(清水特支B)
- ・県内外のチームと試合ができていい経験になった。この経験を生かしたい。(城北分校B)
- ・最後まで諦めない」をテーマにやっている。気持ちが入っていた。(福井FID)
- ・全員で得点につなげて良かった。たくさんのチームがいて楽しめた。(スポーツを楽しむ会)
- ・基礎練習を中心にやっています。成果が出た大会でした。(静岡北特支)
- ・普段は高校のグラウンドを借りています。いい環境で試合ができて良かった。(御前崎分校)



【知的障がい者サッカー・一般スタンダードの部】

選手が一生懸命、ボールを追う姿がたくさん見られました。お互いを責めない優しさも見られました。

選手たちのひたむきさを見るとつい大きな声で応援したくなる気持ちもわかります。

選手たちのマナーも、毎年向上しています。サッカーの技術だけでなく、態度や感謝する気持ちも育ててほしいと思います。

試合結果	優勝	西部教室	準優勝	静岡FC
1回戦	静岡FC	1 - 1	田方分校	
		PK 3 - 1		
1回戦	南の丘分校A	6 - 0	城北分校A	
1回戦	清水特支A	3 - 2	静岡SS	
1回戦	西部教室	4 - 0	焼津分校	
準決勝	静岡FC	1 - 0	南の丘分校A	
準決勝	西部教室	7 - 1	清水特支A	
決勝	西部教室	0 - 0	静岡FC	
		PK 5 - 4		

《選手の感想》

- ・自分の思った通りのプレーはできなかったが、ディフェンスは良かった。(静岡FC)
- ・いつも通りだった。1点決められて嬉しかった。(静岡FC)
- ・連覇できたけれど無失点ならもっと良かった。勝てて良かった。(西部教室)
- ・負けて悔しい。もっと努力したい。個人プレーが多かったのでパスをしたい。(南の丘分校A)
- ・今回の試合でパスが大事なのが分かった。(南の丘分校A)
- ・強かったけど諦めずにやれて良かった。(清水特支A)
- ・前より強い相手に向かっていけるようになった。(清水特支A)
- ・練習の時より動けなかった。(静岡SS)
- ・最初は緊張したけれど、だんだん良くなった。一人一人が楽しくできた。初めてのPKで緊張したが、いい経験になった。(田方分校)
- ・練習の成果が出た。試合には負けたが、パスなどをつなげて良かった。(田方分校)
- ・相手のパスの連携が良かった。前半は、クリアー等できなくて苦しんだ。(城北分校A)
- ・強いチームと戦えてよい経験になった。もっと上手になりたい。(焼津分校)
- ・強いチームと戦えるのは嬉しい。(焼津分校)

《監督感想》

- ・選手は、想像以上に頑張った。今年以上のチームを作る。(静岡FC)
- ・選手が諦めないで良く走ることができた。(西部教室)
- ・練習量が足りなかったと痛感している。改めて練習の大切さを感じた。(南の丘分校A)
- ・練習の成果も見られ、充実感がある。(清水特支A)
- ・限られ時間の中で、練習しているが、社会人になっても頑張っている。(静岡SS)
- ・最初は練習の成果が出し切れなかったが、後半になると良くなってきた。(田方分校)
- ・いいピッチでやれて幸せです。シュートまでいけた場面もあって良かった。(城北分校A)
- ・生徒たちは、頑張った。負けたが、練習の成果は出ていた。(焼津分校)



【知的障害静岡県代表・IAI 招待の部】招待チーム≪横浜F・マリノスフトゥーロ≫

大会結果 横浜F・マリノスフトゥーロ 1 - 1 静岡県選抜 (PK 4 - 2)

優勝 横浜マリノスフトゥーロ 敢闘賞 静岡県選抜

MVP 内堀 嗣円 (横浜マリノスフトゥーロ)



悔しいです。もっと練習をして、全国大会に出るのを目標に頑張ります。

静岡県選抜MF 右田貴大

前半は、ピッチを広く使い、サイド攻撃ができていました。早めに点が取れてチームとしてもいい立ち上がりでした。前半最後に、集中力が切れたところで同点にされたのが残念です。後半は、体力がかなり落ち動いていませんでした。課題も明確になったので、全国大会出場を目指して練習に励みたいと思います。

静岡県選抜 櫻井 雅巳

長期ビジョンを持ち、先駆的に知的に障がいのある人たちのサッカーに取り組みされてきた静岡県から、記念すべき第1回静岡障がい者サッカーフェスティバル大会に招待いただきありがとうございます。

最高の天候とピッチコンディションの中、日本屈指の強豪である静岡県選抜チームと試合できたことは、チームとしてはかけがえのない経験となりました。

このイベントをひとつのきっかけとして、「誰もがボールを蹴る楽しさを体感できる環境の拡大」につながる事を期待しておりますし、静岡県をお手本としながら横浜でも様々な取り組みを実践していきたいと考えております。最後に、この度機会を与えていただきましたすべての方々に感謝申し上げます。

横浜F・マリノスフトゥーロ 監督 小山良隆

試合をさせていただき、まことにありがとうございます。両チーム共にフェアプレーでやれたことが嬉しく、そして60分やり切ってPK戦で勝ったことが嬉しかったです。来年から招待試合をよろしく願います。

僕は2年前のブラジルで行なわれたINASサッカー世界選手権大会の時は、守護神の座を譲ってしまい、4位にはなりましたが納得がいきませんでした。今回は、1失点はしてしまいましたがPK戦で威圧をかけ1本目と4本目が外れて、うれしかったです。そしてMVPを取ってブラジルの屈辱を晴らしたような感じですがごくうれしく思います。MVPを選んでいただき誠にありがとうございます。日本の代表候補としてつながっているので、守護神の座を奪うように頑張りたいと思います。静岡県のチームは、ドリブルやトラップがうまくスピードのある選手が多くとても強かったです。東海リーグで1位を取ってチャンピオンシップで戦えるようにお互いに頑

【電動車椅子の部】

大会結果 A 優勝DKFBCディスカバリー 準優勝 SFCデルティーズ
DKFBCディスカバリー4 - 0 F・バッドボーイズ
SFCデルティーズ4 - 0 F・バッドボーイズ
DKFBCディスカバリー4 - 0 SFCデルティーズ



昨年は2チームでしたが、今年は、愛知県からも参加していただきました。このような大会は全国的にも注目されるようです。チーム数も増やし「ぜひ、参加したい。」という目標の大会にしていきたいです。

体験には多くの方に参加していただきました。しかし、試合では、「応援が少なかったのもっと盛り上がる仕掛けが今後の課題です。

フェスティバルに招待され、なおかつトロフィーもいただいたので、ディスカバリーとしては、嬉しい尽くしの大会でした。ただ観客が少なかったのが残念でした。もっと盛り上がるようなプレイをしていきたいです。見に来ていただいた皆様に感謝します。

DKFBCディスカバリーキャプテン
初めて参加しとっても良かった。このような大会は名古屋にはなく、静岡でも第1回なので、今後も続けていただき、次回も参加したい。準備をしていただいた関係者の方に感謝します。
DKFBCディスカバリー監督

体験に参加してくれた方が興味を持ち、質問やプレーを見せてほしいというリクエストが出てきたことがうれしかった。試合では、観客が少なかったのが残念に感じた。もっと練習を重ね、アピール等をもっとして電動車いすのサッカーの魅力を広めていきたい。

SFCデルティーズキャプテン
このような大会を通じて、たくさんの方に電動車椅子サッカーや障がい者サッカーを知ってもらって嬉しいです。試合を見た方が、「体験すれば良かった。」と言ってくれたり、今後も関わってほしいと思ってもらうことができ良かった。これからも継続してサッカーを広めていきたい。他の競技を見ることができなくて残念。
SFCデルティーズ監督

県外のチームと対戦でき、勉強になりました。もっとたくさん見てもらえるようチームとしてレベルアップを図りたい。もっとチーム数が増えるとよい。

F・バッドボーイズキャプテン
精神的にも、技術的にも課題があります。貴重な機会を有難うございました。

【電動車椅子の部・体験会】

- 回転してシュートの仕方がわかった。丁寧に教えてくれた。
- 思ったよりも難しかった。
- 細かい動きもできるのでびっくりした。
- 思うように動かず、つい力が入ってしまい、上手くいかなかった。



【アンプティサッカーの部・体験会】

- 不便は慣れているけど、思ったより大変だった。小学生よりサッカーをやっている。脳性麻痺があります。
- とても難しい。普段使わないところが痛い。難しいが楽しいです。選手はすごいと思いました。
- 思うようにボールがコントロールできなくて大変でした。すごく手が疲れました。シュートを打つのが大変でした。
- フットサルコートの往復だけでも疲れました。日本代表はすごいと思いました。



【アンプティサッカーの部・東西対抗】

アンプティ東西対抗は、たくさんの観客の中、行なわれました。選手入場時は、お決まりの FIFA アンセムです。東海大学附属静岡翔洋高等学校中等部女子サッカー一部の選手紹介では、選手が観客に応えるパフォーマンスに大いに盛り上がりました。

試合では、アンプティならではのプレーに歓声があがり、大きな拍手も何度もわきあがりました。

《試合結果》	優勝	WEST	敢闘賞	EAST
	EAST VS WEST	MVP	石井 賢	
	1 - 1	(PK	2 - 4)	

静岡県（2014日本代表 GK） 長野選手の話

いい環境でできて良かった。PKは止めなきゃいけないが、頑張っって自分の役目が果たせて良かった。ワールドカップに出られるようにワンランクあげたい。代表に選ばれて翔洋に挨拶に行きたい。

静岡県（2014日本代表 FP） 若杉選手の話

25分ハーフで足がつり、疲れた。40歳だけど、25分ハーフできるように、毎日走って体力をつけたい。天気もよく、冬にしては暖かく最高の1日だった。（翔洋なでしこもがんばれ！）

静岡県（2014日本代表 GK） 梅原選手の話

静岡でアンプティのサッカーをできて（見てもらって）良かった。今年のワールドカップでも正ゴールキーパーを目指したい。



迫力のプレー



元エスパルの市川、平松選手も見学、体験をしました！



PKを決めるMVP石井選手



インタビューを受ける長野選手

【ソーシャルフットボールの部】

今年から大会に加わったソーシャルフットボールは、県内東、中、西部地区から3チームが集まりました。現在、愛好者も増えているということで、今後、盛り上がり期待されます。試合の合間には、ボランティアの中学生もフットサルを楽しみ、会場にいる皆が和やかな雰囲気につつまれました。

《試合結果》優勝 V A C S - G E L A 準優勝 西部地区選抜
V A C S - G E L A 静岡 8 - 0 東部選抜
西部地区選抜 9 - 0 東部選抜
V A C S - G E L A 静岡 5 - 1 西部地区選抜

キャプテンの感想

東部選抜：相手チームが強くて点が取れなかった。体力がチームとして持たなかった。

V A C S - G E L A 静岡：優勝はできましたが、チームとしてまとまりがなかったと思います。

次回は、もっと仕上げてきたい。

西部選抜：試合だけでなく、他のチームと練習のことなど情報交換ができて良かった。

ボランティアの方々有難うございました。もっと実力をつけます。

監督の感想

東部選抜：交代選手がなかったため、体力的に厳しかった。合同チームだったことや日ごろ練習していないため、動きがばらばらだった。

V A C S - G E L A 静岡：どの地区もレベルアップしており、競技性が高まってきているように思います。チームに関しては、まだまだレベルアップできる部分があるので、練習を頑張っていきたいです。

西部選抜：楽しく過ごせました。中部地区は強かったのもっと練習をして追いつきたいです。

まずは体力をつけて、次の試合はいい勝負をたいです。静岡のソーシャルフットボールの裾野を広げられるように選手と頑張っていきます。また、近い将来、日本を代表するような選手を輩出できるように努めていきます。



【ブラインドサッカーの部・体験会】

昨年度は、静岡県立静岡視覚特別支援学校で体験会を行ないましたが、同じ場で行いたいという思いから、今年度は、清水ナショナルトレーニングセンターで開催しました。本大会で最初のそして朝一番の体験会ということで、参加者が集まるか心配しましたが、会場を準備してきたボランティアの方もたくさん集まったので良かったです。

電動車椅子の方が、アイマスクをしてのPKに参加したことには、びっくりしました。この大会ならではのなと思いました。こんな機会を大切にしたいです。

《体験者の感想》

- 初めて体験したが、思った以上にできたので楽しめた。しかし視界がなくなるだけで不安や恐怖心が出てきた。どんな人も楽しめるので、先ずはやってみてほしい。
- 音や声の重要性を改めて感じました。これからも機会があれば参加していきたいです。
- 新しいサッカーの楽しみ方だった。
- 音がっても、距離感とか全くわからなかった。
- 周りの人の協力が大切なことがわかった。
- 音を聞き分けるのに集中力がある。聴力だけでのボールコントロールは難しい。空振りした後、ボールの上に乗かって転びそうで怖い。
- 実際に目が見えない状態になって、ボールや相手が見えない怖さがあった。声をたくさんかけるコミュニケーションの大切さに改めて気づいた。



【障がい者サッカー体験会】

11月にこの大会に向けて、メリメロという障がいのあるなしに関わらずごちゃまぜにサッカーを楽しむことができる場を提供している団体にお願ひし、ボランティア等とともに学習会を行ない、この大会に備えてきました。

小学生から、一般までたくさんの方に参加していただき嬉しかったです。「もっとやりたい」という未来のJリーガーの声も頼もしかったです。

《体験者の感想》

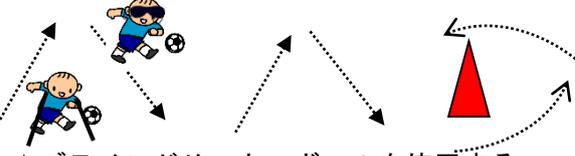
- 初めてやることばかりで、すごく面白かったです。アンプティの方、ブラインドの方はすごいと思いました。また機会があれば体験したいです。
- 目が見えないサッカーは、怖くて、いつボールが来るのか、人があたってくるのかわからないので、とても怖いと思いました。聞こえない人とはジェスチャーを頑張らなければと思いました。片足でのサッカーでは、疲労が激しく大変でした。
- いろいろな障がいがあってもサッカーはできるんだと思います。ボールがあればみんなでサッカーができるなと思いました。
- ブラインドでは、ボールの位置がわからなかったです。これが試合になると、ゴールの位置もわからなくなるので難しいと思いました。
- どれも難しかったです。難しいサッカーをやっているからすごいと思いました。
- 障がいのある人も、「怖い」と思うんだろうなと感じました。
- いろいろなサッカーの体験ができて良かったです。
- 自分たちのサッカーについて改めて考える機会になりました。
- 体験すると難しさがわかります。本当に工夫されていて、楽しくできるのが良かったです。
- 今日は貴重な体験ができました。こんな難しいサッカーができるのはすごいなと思いました。



【障がい者サッカー体験会・計画】

障がい者サッカー教室として、本年度から取り組みました。障がいの有無に関わらず障がいのある方たちのサッカーを楽しみ、笑顔になることを目標にしています。たくさんの方が参加してくれ、時間待ちがでるほど盛況でした。

今後も、15分バージョン、30分バージョンやサーキット的な内容等工夫できることがたくさんありそうです。研修を積みたいと思います。

活動	留意点など
<p>① ジェスチャーゲーム（8分） ※サッカーに関する手話の紹介を含む （1）手話をやってみよう ・ やってみせて、何を表しているのか聞く。 ・ どのようなイメージなのかを説明しながら、一緒に手話で表現させる。</p> <p>→聴覚障がい者と話すとき手話を使うが、ジェスチャーでも伝わることを話す。</p> <p>（2）ジェスチャーゲーム ・ グループを作り、縦に並ぶ。 （1グループ6～8人程度） ・ 1回3分で2回程度行う。 （様子を見て、短縮する場合も有り）</p> <p>② 体験（5分） ※各自クラッチ、車椅子、アイマスク、妊婦疑似体験セットを使用してボールに触れる体験を行う。 ・ ジェスチャーゲームのグループで活動する。</p> <p>③ レクリエーション（10分） ※パスをしながら進む活動を行う。 ・ 1グループ12人程度で活動する。</p> <p>④ ブラインドサッカー：PK（7分） ・ キッカーを1人1回は体験する。 ・ キーパーは立てない。 ・ 手でボールの場所を確認してから蹴ってよい。 ・ メインが「こっちだよ。」と声掛けをする。</p>	<p>（1）手話クイズのお題 ＜サッカー＞ 左手の親指と人差し指で丸を作る。（ボールのイメージ）右手の中指を左手の親指に2回程あてる。（右手が足、左手がボールを表し、足でボールを蹴るイメージ） ＜シュート＞ 両手の人差し指だけを伸ばして下に向けて付け合せる。右手の人差し指だけを2回程前方に払う。（人差し指が足を表し、ボールを蹴るイメージ） ＜キーパー＞ 左手をグーにして、右の手の平の真ん中で左手の背を2回程たたく。</p> <p>（2）ジェスチャーゲーム ＜サッカー用語＞・レッドカード ・ペナルティーキック ＜季節に関するもの＞・たこあげをしているさる ・こま回しをしているさる</p> <p>☆体験するものに合わせて、サッカーボールとブラインドサッカーボールを使用する。 ○そのまま移動したりボールを蹴ったりするなど、それぞれ自由に体験する。</p> <p>☆クラッチ、車椅子、アイマスクを使用する。</p>  <p>☆ブラインドサッカーボールを使用する。 ☆キッカーはアイマスクを使用する。</p>  <p>キッカー</p>

【ボランティアの感想】

私たちは、「静岡障がい者サッカーフェスティバル大会」の運営をお手伝いさせていただきました。運営、応援と色々な体験をし、とても充実した楽しい一日を過ごすことができました。

ブライドサッカー、アンプティサッカー、電動車椅子サッカーなどの様々なサッカーに出会いました。私も実際に体験しました。難しかったですがそれ以上に楽しかったです。

審判をやっていたときに感じたこともあります。みんな負けず嫌いで、本当に楽しそうにサッカーをやっているということです。私も小学校の頃から、サッカーが好きで楽しいから続けてきました。みんな同じ気持ちだと感じ、サッカーを通してつながっていることがうれしかったです。サッカーフェスティバル大会で出会った多くの方に感謝しています。これからもサッカーを通して、良い出会いを大切にし、みんなと仲良くなり、たくさんの友だちを作りたいです。改めて、私にとってサッカーは、楽しいスポーツであり、良い出会いに巡り合えるスポーツだと思いました。

私たちは、今回運営という形でサッカーフェスティバル大会に参加させていただきました。成長するにつれて運営の立場を経験するようになりました。今回も運営は大変だと思いました。サッカーの大会や試合は行うには、多くの人達の協力があってこそできるということを実感しました。

私は、この大会に参加した方々と同じようにサッカーを楽しみながらがんばっていきたいと思います。そしてサポートしてくださる方に感謝し、良い出会い大切にしていきたいと思いました。ありがとうございました。

東海大学静岡翔洋女子サッカー部 高木 夢菜

僕はまず、知的障害のある人の試合を見ました。外からではわからないくらい高度な試合だったと思います。次にアンプティサッカーとブラインドサッカーの体験をしました。アンプティサッカーは片足しかない人が松葉杖のような物を使ってやるサッカーだと初めて知りました。自分が経験してみてとても大変だということがわかりました。立ち足となる足がないので、バランスが上手に取れずとても難しかったです。しかし選手たちは、僕たちと同じようにボールを飛ばしたり、走ったりしていました。足がなくても僕たちと同じようにサッカーを楽しんでやっているという事にビックリしました。ブラインドサッカーは以前聞いたことがありました。ブラインドサッカーでは目でボールを見ることができません。音を頼りにして動いても、ボールがどこにあるのかわからないし、自分がどこにいるのかもわかりません。ボールが見つかってもどこに味方がいるのかわからないのでパスを出すのも大変でした。僕はまだ、プロの選手がやっているブラインドサッカーは見たことがありません。今回体験をしてみて、難しさがわかったのでプロがどのようにやるのかも見てみたいと思いました。

今回、障害を持っている方のサッカーを見て、僕たちとほとんど変わらないと思いました。しかし目が見えないということや足がないということはとても難しいことだと思います。僕たちは目で見てボールを追ったり、パスを出したりするけど、目の見えない人はそれができません。ボールは音で追ったり、パスも味方の声で出したりと、僕たちのしているサッカーとは難易度が相当違うと思いました。足のない人も同じです。僕たちは両足を使ってドリブルやパスをするけれど、片足のない人たちは片足でしなければいけません。それはとても高度なことだと思います。僕たちよりも遥かに難しいサッカーをしていると思います。そのような人たちが努力している分、

障害のない僕たちは今与えられているものを全て活かすことができるようなサッカーをすることが大切だと思います。今回の経験からたくさんのことを学ぶことができました。

静岡市立清水第一中学校サッカー部 2年 西村 拓

1月9日土曜日に、障害者の人たちのサッカーの運営と、アンプティサッカーの体験をしました。とても大変だったけど、いい経験ができました。

まず、運営では、インタビューをしました。どういう質問をしたらいいのかとても悩みました。大変緊張したけれど、インタビューを快く受けてくれて、話し易かったのが良かったです。また、どのチームも楽しそうに声を出し合いながらサッカーをしていて、自分たちのチームにも生かせることがたくさんありました。

Jステップでは、色々なサッカーをやっていました。車いすのサッカーや片足や手がない人たちの行うアンプティサッカーもありました。

アンプティサッカーを体験した時は、片足が使えず、クラッチという杖ともう片方の足で身体を支えるのでとても大変でした。また、ボールコントロールができず、自分が思っている方向にパスが出せなくてとても難しかったです。けれど、とても楽しくできました。

この体験を通じて学んだことは、楽しむことです。障害者の人たちは、サッカーをとても楽しんでいました。ゴールを決めたときは、チームで盛り上がっていました。そういう楽しむ、心から楽しむということは、僕たちは忘れているところがあると思いました。楽しむ、ということを忘れずにサッカーをしていきたいです。

また、身体が不自由でないありがたさがとてもわかりました。アンプティサッカーで、片足が使えず、とても辛かったです。また、片足がないと生活も不便だと思いました。だから僕は、身体を大切にしていきたいと思いました。

静岡市立清水庵原中学校 伊藤 当